

代表理事(会長) 就任のあいさつ

一般社団法人 日本テックボール協会
会長 早稲 昭範

2020年12月9日に開催されました当協会理事会におきまして、前代表理事阿久津健一の後を継ぎ、若輩ながら代表理事(会長)に就任いたしました。コロナウイルスの感染拡大の影響でスポーツ業界が大きな変革期を迎えているこの時世に会長の職に就くにあたり、その責務の重さを痛感しております。

2020年という年は世界的にも変革の年であり、国際テックボール協会(FITEQ)が国際競技連盟連合(GAISF)へ加盟した事でも大きな話題となりました。今日におけるテックボールは世界中でプレーされており、84か国でテックボール協会が設立され、その内各国の国内オリンピック委員会に加盟している協会が55か国に上ります。しかし、当協会は未だ日本オリンピック委員会に加盟する競技団体(正加盟団体・準加盟団体・承認団体)として承認されていないため、目下の最優先事項として日本オリンピック委員会への加盟と国内強化指定選手の選定を行い、2021年に延期となった第6回アジアビーチゲームズ(2020/三亜)に日本選手団を派遣できるよう全力で努めて参ります。

当協会は2017年9月に法人認可を受け、テックボールを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、子供たちの健全な育成と生涯スポーツ社会の実現、さらには競技力の向上を目指すことで、地域社会の活性化と健康で文化的な社会の構築に寄与する目的のもと活動してきました。今後は更に、ガバナンス、経営の透明性、など組織運営の健全化を図り、より付加価値の高いスポーツ事業を提供していく所存です。

今後も変わることを恐れず、スポーツを通じた沢山の縁を大切に、その使命を果たすべく前任者同様、更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。以上、略儀ながら書中にて就任のご挨拶を申し上げます。皆様のご健康とますますのご活躍をお祈りいたします。

2020年12月15日
一般社団法人 日本テックボール協会
会長 早稲 昭範